

(端裏書)

三淵縫殿助様

御用人中様 成田清左衛門

岩佐善左衛門

(本文)

以手紙致啓上候、

然者今般御上京

御日数込ニ相成、

御入費不少、御借財も

相嵩候付、金子御借用

之儀御頼談之趣

至極御尤之儀ニ付、評議

いたし候処、手前方ニも

連年軍用筋多

端ニ而莫大之失費

差湊、今日之運毛付

兼候次第ニ付、何分

御頼談二者難被

忘候間、先二三百金御

振替被申方二相決

申候間、左様御心得

宜御申上可被下候、

尤右金辻御請取之儀ハ

明日昼之内当所江

御出方有之候者、夫々

御引渡□都合致置

可申と存候、此段得

御意度、如是御座候、

以上、

十一月廿五日

猶々明日御出方之節

御手形御持参有之候様

存候、以上、